

琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用

政策課題研究 2

グリーンインフラの推進に向けた河川流域が有する多様な機能の把握とその保全再生に関する研究

【研究概要】

河川流域の生態系の保全および流域の減災を目的として、河川流域の生態系が有するグリーンインフラ機能を明らかにし、機能の発揮に向けた生態系の保全再生・回復方法等を提案します。具体的には、河川流域の生態系が有するグリーンインフラ機能をモニタリングする技術を開発し、機能を評価するとともにグリーンインフラ機能を発揮するための生態系の保全再生・回復方法の提案、その維持・継続の要点を整理します。

【サブテーマ】

- ①河川流域生態系のグリーンインフラ機能の把握
- ②河川流域生態系のグリーンインフラ機能に関する流域環境モニタリング技術開発
- ③グリーンインフラ機能の回復のための小さな自然再生方法
- ④民間による生物多様性保全区域のグリーンインフラ機能の維持継続の要点

【現状・課題】



【課題解決に向けて】

1 グリーンインフラ機能の把握

- 森の保水機能や河畔林等の洪水を防止する機能などの把握

2 グリーンインフラ機能のモニタリング技術開発

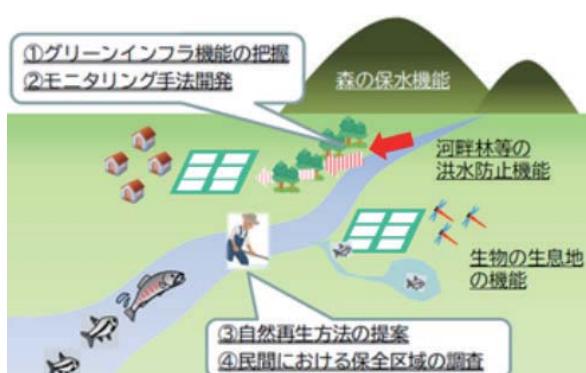
- 写真測量や3次元測量などによるグリーンインフラ機能評価のための技術開発

3 グリーンインフラ機能の回復のための自然再生

- 多様な主体が協働した河川における小さな自然再生方法の提示

4 生物多様性保全区域のグリーンインフラ機能の維持継続

- 生物多様性保全区域とグリーンインフラとの関係性を明示し、区域の維持継続の要点を把握



- 森一川一湖の水と土砂のつながりが多様な主体により整えられて、河川流域の自然生態系の保全再生が促される。
- 研究成果を、「グリーンインフラ機能を活かした流域治水」が広範囲に実現するための基礎情報とする。